

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中の部

令和三年四月度 入賞句一覧

投句数 千二百四句



特選

長町 誠司 選

チューリップ赤色だったらおこりっぽい

大垣市

古澤 そうま (小三)

世界中で観賞用に広く栽培されるチューリップですが、作者は色に思いを込めました。無造作に「赤色」だっただけのおこりっぽい」と、断定した作者。これにより、(えつ、私なら赤いチューリップは「告白」をイメージするのに)とか、(ではピンク色だったら、どんな気持ち)など、読者に問いかけ、考えさせ、想像されてくれました。この感性豊かな表現力で新学年もどうぞ活躍して下さい。

「おはよう」とそのひとことできくらさく

大垣市

半田 杏奈 (中一)

もちろん声を掛けるだけで実際の花はさきません。適度な環境条件によつて開花しますが、この句の「さくら」は作者の内面的なところにあるようです。一日の始まりの挨拶「おはよう」は魔法のような言葉です。その一言で、今日一日が気持ちよく過ごせるかどうかが決まる場合もあります。まして好意を持つている人から声を掛けられると、なおさらですね。「おはよう」と、挨拶を交わす作者の心の中の満開のさくらが、いつまでも咲き続けますように。

夜桜を水の中からのぞいてる

大垣市

秋吉 桃歌 (中二)

読み返すうちに、水面に映った作者が夜桜を見ているのでは、と思えました。この不思議な空間と静止した時空に佇む作者が、夜桜という季語で、さらに読者を不思議な世界に導きます。ライトアップされた夜桜の俳句は妖艶なものや心理を取り合せたものが多いのですが、この句は単に行為そのものを書いただけです。しかし無駄な言葉や気取りが無いだけでなく、深く深く「夜桜」の本質に迫ってくるのです。

秀逸

テレビみていちにちおわるはるやすみ

大垣市

小でら ともひと (小二)

ひなだんの一だん上がって三年生

大垣市

竹添 珠生 (小三)

しんがつきいちねんせいほんな子だ

大垣市

えんどう あこと (小三)

ひな人形夜に見るとすぐくこわい

大垣市

中村 明日香 (小五)

春の夕空が果実のバスケット

大垣市

大関 綾華 (小六)

さくら咲き墨俣町はピンク色

大垣市

裁 証文 (小五)

春の風おれの心をくすぐるぜ

大垣市

鈴木 恵一朗 (中一)

うぐいすがわたしをはさみかいわする

大垣市

半田 杏奈 (中一)

春風にせなかおされてばんりゆう山

揖斐郡揖斐川町

新川 智也 (小四)

うぐいすの声がひびくよおんなざか

揖斐郡揖斐川町

栗田 朱優香 (小四)

入選

小中の部

つくしの子によきつとはえる大きい子	大垣市	すず木 あんな(小二)
みつばちがせんたくものによつてくる	大垣市	間野 友月(小三)
バレンタインチョコをもらったすきな子に	大垣市	長谷川 大(小三)
いいだこがさんごになつてかくれてる	大垣市	加藤 和真(小三)
ねこのこがいえにかつてにはいつてた	大垣市	森 愛咲(小三)
さむいけどこまかいところはるのかぜ	大垣市	ひろ江 けん心(小四)
卒業式外ではゆつくり桜ちる	大垣市	幸谷 葵(小五)
大垣の春の川にはこいのむれ	大垣市	田中 明沙(小六)
石鹼玉私の気持ちをうつしてる	大垣市	牛田 帆香(小六)
コロナのせい今年見れない初桜	大垣市	田口 芽依(小六)
授業中制服を脱ぐ夏近し	大垣市	高橋 功多(小六)
ふとんからまだまだ出れない春の朝	大垣市	栗田 あおい(小六)
ふうせんの昔にきおくよみがえる	大垣市	近藤 安人(小六)
石ぼん玉ぼくをうつしてとんでいく	大垣市	成瀬 優伸(小六)
石鹼玉つくつてこわすくりかえし	大垣市	水谷 瑛太(小六)
春休み来年先生だれだろう	大垣市	浅野 友之介(小五)
ありがとう学校に礼卒業式	大垣市	高橋 桃子(中一)
ひなまつり僕とそいつは無関係	加茂郡川辺町	渡辺 陽(中二)
桜の木私の家の目じるしだ	加茂郡川辺町	神谷 祐香(中二)
さくらのめぐんぐんぐんとのびるんだ	大垣市	小さか ちさ(小二)

選者吟

図書室の椅子修理して卒業す

せいじ

